

NEWS LETTER

NO.40

2012.3.31



にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本

〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

「わたしのスイッチ」

私は“運命”という言葉が嫌いです。

人生には、生まれ、出会い、別れ、成功、失敗、幸運、不運があります。

もし、私たちの人生が、運命の力ですでに決まっていたら、私たちは何のために生まれてくるのでしょうか。

裕福な家庭に生まれてくる人、美しい母親から生まれてくる人、戦争中に生まれてくる人、貧乏に生まれてくる人、生まれはすべて運命によるものです。

それで、人生がきまってしまうのなら不公平だと思います。
なぜなら、決まった運命なら未来はありません。

人間は、苦しみながら未来に向かって生きていくものです。

私は沢山の苦しみと困難に遭いました。ときには、涙を流しながらあきらめました。困難にたえるということは、本当に難しいことです。間違った決定をしたら、すべては終わるような気がします。

ときどき、神様にどうしてこのような試練を与えられるのですか、と訊ねたい気がします。

でも、自分の未来を切り開く機会を、見つけなければなりません。その決断をするとき、明日の扉が開くのを私は信じています。

ちょうど、電気のスイッチのように、押せば電気がつきます。日本に来るときも、私はスイッチを押しました。

私は、明日の光を信じて、これからもスイッチを押します。

BRYAN JAY A. ALVAREZ(フィリピン出身)



学習者紹介

★スニルさん・カスさん インド出身

エピソードいっぱいで楽しかったです

今回ご紹介するのは、インド人ご夫婦のスニルさんとカスさんです。お二人共とても日本を好きになってくれたのですが、スニルさんの仕事の都合で急に4月末に帰国することが決まってしまいました。教室も2月末にお辞めになり、とても残念ですが、明るく教室に通って頂いていたお二人のことをぜひご紹介したいと思います。

ご主人のスニルさん (Pepala Venkata Sunil) は、2007年に西神中央にある会社のITエンジニアとして働くため来日されました。西神中央にあるホテルに宿泊していたスニルさんは駅前のそごうで買い物をしようと出掛けたところ、全く英語が通じずショックを受けたそうです。そしてその後何日かホテルに閉じこもってしまったというのです。

スニルさんは日本人はみんな英語が話せると思っていたんですね。残念ながら、はじめは大きな誤解があったようです。今ならきっと街で英語が話せる日本人に会ったほうが、びっくりすることでしょう。

ただ、会社内ではほとんど英語で生活できているため、せっかく上手になった日本語を喋る機会はありませんそうです。

日本に来て「人力車」が日本のもので、インドにある「Jinrikisha」「Rikisha」が日本語だったことを知ってびっくりしたそうです。

他にも日本人がキチンと列を作つて並ぶ姿にも驚いたけど、日本人がインドに行つたら、街中をゾウが歩いているのに驚くでしょうと笑つて話してくれました。

2009年にカスさん (Kasu Preethika) と出会

い、ご結婚されました。カスさんの御親戚の方の紹介で、日本のお見合いのような形で出会つたようです。ただ、会つて30分で結婚を決めてしまったというのですから運命的な出会いだったのでしょうね。その後、カスさんも来日しましたが、1年ほどインドネシアでエンジニアとして働いていたため、別々に暮らしていたそうです。仲の良いお二人ですから、とても寂しかったことでしょう。

二人で「にほんごひろば岡本」に来られたのは、去年の4月です。スニルさんは宮武さん、カスさんは福田さん、古川千香さんとの勉強が始まりました。お二人仲良く日本語能力試験の勉強を漢字と格闘しながら頑張り、二人とも見事5級に合格されました。カスさんは福田さん、古川さんと一緒に食べた「うどん」と「唐揚げ」の味が忘れられず、うどんが日本での大好物になつたそうです。スニルさんはラーメンと鍋が大好きで、「スニルさんは日本人になってきているからアルコールも飲みます」とカスさんが笑つて言うように、アルコールも好きなようです。



カスさんは妊娠のため体調がすぐれず、一時「ひろば」をお休みされていましたが、安定期になり元気になつたので再び「ひろば」に戻つてきました。その後は、私と一緒に週2回楽しく勉強してくれました。妊娠が進むにつれて体重が増えはじめ、お医者さんから注意をされていたので大好きなアイスクリームもチョコレートも止めて、毎日1時間散歩をして身

体を動かして頑張っていました。とても優秀な妊婦さんでもありますが、日本語学習のほうもとても真面目に頑張る優秀な学習者さんでした。1字1字きちんと読み、少しでも間違えたり、分からなかったりしたら「もう一度お願ひします」と言って何度もやり直しました。本当に真面目な姿勢に、こちらもなんとか応えてあげたい、しっかり話せるようにしてあげたいと思わされました。とても明るくチャーミングなカスさんは、スニルさんの料理がとてもおいしいとか、インドに帰ったらご主人と二人きりのゆっくりした生活ができなくなるから帰りたくないなど笑顔で色々と話をしてくれました。

4月に帰ってしまうのが決まって、今後お二人とも日本語を話す機会もないのが本当に残念ですが、「ひろば」で学習したことが少しでも日本での良い思い出になってくれればと思

っています。これから日本での出産、育児、引っ越し準備といろいろと忙しくなると思いますが、ぜひ帰国前にはかわいい赤ちゃんと一緒に、元気な顔を見せに来てほしいと思います。

最後に、この原稿を書くにあたりスニルさんの担当支援者である宮武さんに、スニルさんのたくさんのエピソードなどを教えて頂くなど色々とご協力いただいたことを感謝いたします。

(泉 尚子)

※写真は左から当日、見学に来ていた学生ボランティア希望の長谷川さん、泉さん、カスさん、スニルさん、宮武さんです。

みんなのひろば

「にほんごひろば岡本」2011年度 BBQ&お楽しみ会&スピーチ大会

BBQ

昨年の秋、10月の29日に行なわれたBBQですが、紅葉の色も褪せてきましたので、写真でご報告しましょう。沢山のお肉とゲームで一日楽しく過ごしました。





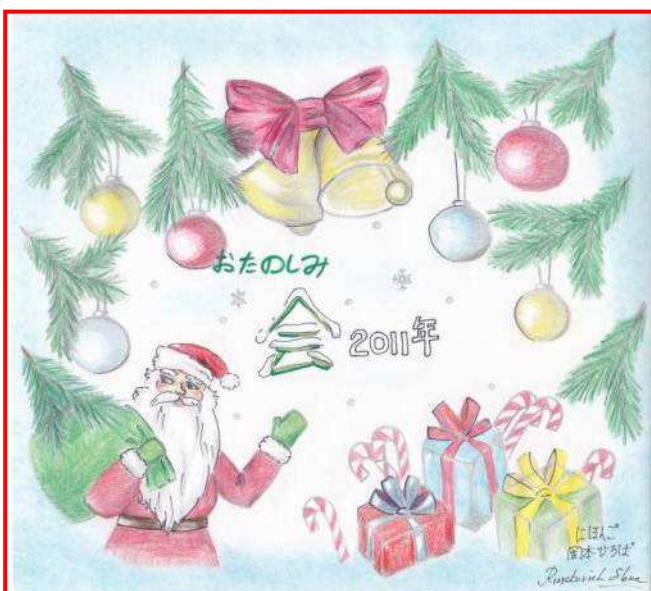
お楽しみ会＆スピーチ大会

2011年12月18日

ひろばのお楽しみ会はとても人気があるようです。過去最高の参加者でした。黒板のタイトル画（左：原画）はエレナさんが描いて下さいました。

恒例のスピーチ大会は、ブライアンさんが見事最優秀賞に輝きましたが、他の皆さんも、とても素敵なスピーチでした。

食事の後は、今年も参加して下さいましたコーラス、ナルモンさんのタイダンス（宮武さんの白い靴下が印象的でしたよ）、中国女性の太極拳（日本で習ったんですって？！）、子どもたちのマジックショー、村岡くん大活躍のゲームなど、手作り感100%のお楽しみ会でした。





★2011. ひろばのスピーチ大会



1. 張 芳怡ちゃん「日本に来て みんなと会って」

学校生活が
楽しいのが、と
てもよくわか
りました。これ
からもみんな
と仲良くね。



2. 徐 どく源さん「韓国と日本の名前の呼び方」

国が違うと、発音も意味もちがってきますね。「うし」く

んではなくて、「そ」くんですよね。

3. Bulut Emrah さん「じかん」

トルコと日本では時間の感覚がまるで違うんですね。トルコ旅行の際は気をつけましょう。



4. 張 珍熙さん「韓国の料理について」

料理の写真もおいしそうだけど、iPadでの解説なんて、すごくかっこよかったです。



5. スタリツィナ・エレーナさん「外国人から見た日本」

日本人の優しさにはとても感動するけど、ブランド

志向
の部
分に
は・
・・

日本人には少し耳の痛いお話をしました。



6. 朴 弘烈さん「韓国のお正月」

何回もお正月があるなんて、うらやましいです。お年玉、あげる方は大変かな。体いっぱい使ってのパフォーマンス、最高でしたよ。



7. Bryan Jay A. Alvarez さん「私のスイッチ」

生きることは大変ですが、自分の決断で未来を進む。本当にすばらしいスピーチでした。前年度の最優秀賞のエレナさんからトロッフィーを受け取るブライアンさん、良い笑顔ですね。



8. 廖 昕茹さん「日本にあふれる外来語」

ピンク→桃色 イエロー→黄色 ブルー→青色 きれいな言葉ですよね。担当の古川翠さんも登場して、楽しいスピーチ、ありがとう。



9. フランシス・マルケスさん「日本に来て驚いたこと」

メキシコのトイレはハンドル一つ、日本のトイ

レはボタンがいっぱい！空港から地下鉄・電車と驚きの連続。さらにはコンビニで携帯使って会計。

日本人はとても親切で礼儀正しいので、映画の中にいるよう。なぜなら、みんなお辞儀しているから、ですって。愉快なスピーチでした。

10. 温 可迪さん「修学旅行の思い出」（特別参加）

京都や奈良に行ったことも楽しい思い出だったでしょうが、友だちとの心の交流ができたことが、一番ですね。卒業おめでとう！



※みなさん、ご苦労様でした。

【児童生徒の支援に向けて】

NEWS LETTER No.39 でもお知らせしましたが、ひろばの新しい取り組みとして外国人児童・生徒への日本語学習支援にも力を注ぐことになりました。それに伴って、2011年11月5日、兵庫国際交流協会主催のボランティア対象の講座が開かれました。ひろばからも数名の支援者が参加しました。

教科学習の支援のため、学習参考書の購入を検討しています。みなさんの更なるご協力をお願

い
致
し
ま
す。



【于さん・徐くん大活躍】

2011年11月30日、兵庫県伊丹市の市民講座の一環で、「異文化理解講座」が開かれました。その講座のゲストとして、ひろばの学習者の于淑霞さん（中国出身）と徐くん（韓国留学生）が招待されました。中国・韓国・日本の生活事情の相違がテーマで、受講者からの沢山の質問に、堂々と日本語で答えていました。二人とも、緊張したそうですが、いい経験になったようです。

【神農雅衣さん、ひろばをテーマにした卒業制作完成】

学生ボランティアの神農さんが、大学の卒業制作として、にほんごひろば岡本をテーマにしたレポートをまとめられました。



学校の授業の合間には、ひろばに来て、学習者や支援者に熱心に聞き取りやアンケートを取り、西村代表へのインタビューなど、頑張っていました。

タイトルは「地域の日本語教室を知ろう～にほんごひろば岡本～」です。まとめられた冊子はひろばにも置いてありますので、一度読んでみて下さい。きっと、これから支援の役に立つと思います。

神農さんは、お仕事しながら、支援をしたいと言っています。感想など、声を掛けてあげて下さい。

【留学生&学生ボランティアさん・それぞれの旅立ち】

2012年2月4日 留学生や学生ボランティアさんのお別れ会を開きました。帰国する留学生や就職や進学など、それぞれの道を歩んでいく若者におじさんやおばさんはエールを送り、再会を約束しました。

【渡辺サツキちゃん・名インタビュー】



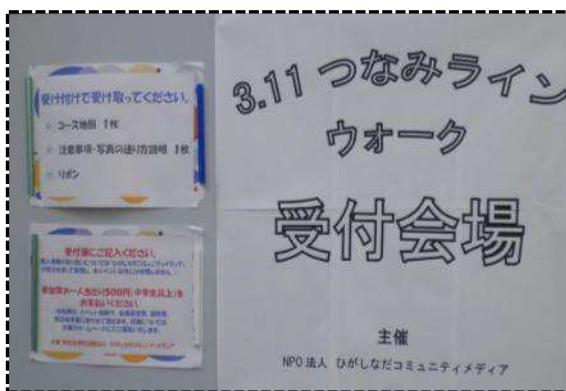


2012年3月11日、東日本大震災の1周年にあたり、NPO法人ひがしなだコミュニケーションメディア主催の「3.11 つなみラインウォーク」が開催されました。兵庫県が仮発表した東灘区内のつなみ到達予測ラインを歩くというものです。

ひろばの学習者の渡辺サツキちゃんが、ゴール地点の東灘区民センターで参加者からの声を聞くинтервьюで参加していました。ひろばからは有志数名と学習者の楊さん・于さん御夫妻も参加しました。実際、津波に対する意識はまだまだ薄く、直面したら、多分高い建物の屋上に避難するのではないかと、参加者同士で話しました。

是非、サツキちゃんに会って、皆さんの感想を聞いてみて下さい。心の準備になると思いますよ。写真はサツキちゃんがスタンバイしているところです。少々緊張していました。

研
イ
が
ま
実
つ
た。



【兵庫日本語ボランティアネットワーク 修会に参加して】

ひろばが加盟している、「兵庫日本語ボランティアネットワーク」の2011年度第3回の研修会2012年3月11日に兵庫県民会館で行なわれました。研修会のテーマは「地域日本語教室の情と課題」についてでした。全体報告の後、5のグループに分かれて、討議が行なわれました。私たちひろばからの参加者は、「こども支援に関する課題」のグループを希望して、討議しました。

ひろばのこれからの「こども支援」に非常に役立つ情報や支援の進め方など、とても有意義な時間を持つことができました。

その後、テーマ別討議の結果発表があり、他のグループの発表も聞くことができ、ひろばにも大いに参考になる内容でした。

【ステップアップ講座始まる】

2011年度のステップアップ講座が2012年3月17日から始まりました。今年度も計4回、予定

しています。

1回目の3月17日は14名の参加がありました。内容は日本語ボランティア支援の役割について、日本語教育の基本について。

こども支援を含む、東灘区内の支援の現状について、新しい支援者からお話を聞き、意見交換が出来ました。



《お便り紹介》

♥No.39で紹介しました、ひろばOGの勝島千晶さんから、ベビー誕生の年賀状を頂きました。咲季子ちゃんです。

おめでとうございます。

一緒に遊びに来て下さいね。待っています。

♥ひろばで、長く支援されていました、関根聰美さんからは、ご結婚の



ご報告が届きました。おめでとう！お幸せに。

■お知らせ■

【2012年度総会】

5月下旬に予定しております。同時に支援者交流会を開きますので、多くの出席をお願いします。

CONTENTS

★卷頭言

私のスイッチ.....1

★学習者紹介

スニルさん・カスさん2

★みんなのひろば.....3

〔編集子のつぶやき〕前号から、なんと 5 カ月も経ってしまいました。申し訳ありません。B B Q もお楽しみ会も色褪せてしまいました。のんびりしていましたが、嬉しい年賀状を頂き、重い重い腰を起して出来上がりました。

次号からは制作スタッフも増えるようですので、乞うご期待。(M. I)